

出会い・ふれあい・生きがいつくり

おおわだ

第85号

令和5年11月30日

発行 大和田地域住民協議会広報部
八王子市大和田町5-9-1
大和田市民センター
TEL(042)645-8980
FAX(042)649-2900
(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団

盛大に開催された「第37回大和田市民センターまつり・福祉のひろば」無事終了

今年の第37回大和田市民センターまつり・福祉のひろば（以下センターまつりという）は大和田市民センター開館40周年の節目とも重なった、記憶に残るセンターまつりとなりました。新型コロナウイルスによりこの3年間開催を中止してまいりましたが、本年5月8日新型コロナウイルスによる感染上の取り扱いが2類から5類に変わりイベント及び集会などの開催に対する行政の要請、関与はなくなり、個人の選択を尊重し、国民の皆様の自主的な取り組みをベースとした対応に変わることにより、お祭りなど大勢の人々が自由に集えるようになりようやく開催できることとなりました。5類に扱いが変わっても感染症自体はなくなっていないので、これまで通り感染症に対する予防対策は十分に行っていきましょう。

センターまつりが開催された10月21日～10月22日両日も晴天に恵まれ大勢の皆様にお越しいただき盛大に開催することができました。

このようなお祭りが開催できたのは大和田地域各町会実行委員の皆様、八王子市社会福祉協議会はちまるサポート、八王子市高齢者あんしん相談センター大和田の皆様、また一連のご協力をして頂いたセンター職員のご尽力とお力添えであり厚く感謝申し上げます。

40周年記念事業につきまして、記念誌発行をもってこれに替えることとし、記念誌発行をなるべく昨年より作業着手、完成はこのセンターまつりを目標とし、計画通り完成しました。大和田地域各戸には配布できませんでしたが町会長はじめ各町会役員、住民協議会各役員及び関係機関へ配布致しました。

実行委員長 秋山治由

センターまつり当日正面



40周年記念誌表紙



第37回大和田市民センターまつり・福祉のひろば

当日の催事概要です。

〈第1日目〉10月21日の催し物は、1階図書コーナーでは古本販売、1階入り口コーナーでは八王子市社会福祉協議会・はちまるサポート主催 はちまるカフェ、2階和室では囲碁コーナー、2階体育館では芸能発表会が行われました。大正琴の演奏（サークル団体恵琴の会）、吹奏楽（ひよどり山中学校吹奏楽部）、和太鼓（ひよどり太鼓）、カラオケ大会と午後6時まで行われ、途中地元関係国会議員、都議会議員、市議会議員、方々のご祝辞をうけました。

3階「作品展」では各人が精魂込めて作り上げた作品が並び、吹き矢体験学習がおこなわれました。当日の内容は別添写真によりご覧ください。

〈第2日目〉10月22日の催し物は、1階図書コーナー古本販売、1階入り口コーナーはちまるカフェ、1階館内外駐車場模擬店、2階和室福祉のひろばはちまるコーナー、健康友の会のコーナー、高齢者あんしん相談センターのコーナー、2階体育室の芸能発表会では、チアダンス、楽器演奏、舞踊、民謡が行われ、最後民謡をバックにご来場の皆さんと民謡踊りをしました。当日の様子を写真にてご覧ください。

芸能発表会



大正琴



ひよどり山中学校吹奏楽

チアダンス



民謡踊り



カラオケ



作品展コーナー



福祉のひろば



はちまるサポートクイズラリー



囲碁コーナー



吹き矢コーナー



模擬店



事務室から

いつも大和田市民センターをご利用いただきありがとうございます。

ここ3年間は新型コロナの影響で「大和田市民センターまつり」は中止でしたが今年は無事開催でき、また多くの方々もお越しになられ、まことにお喜び申し上げます。センターまつりの支援を無事行うことができたことに業務員一同安堵しております。これからも大和田市民センターを、地域の皆様にご活用いただけるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

* 年末年始の休館日 12月29日(金)～1月4日(木)

* 書初め大会のご案内 *

会場：大和田市民センター 3階会議室

日時：令和6年1月7日（日）

午前10時～12時まで

展示：1月7日～1月14日

12月上旬ごろ各町会回覧にて申し込みご案内をいたしますので多数のご参加をお待ちしております。

編集後記

20日の会場準備は、実行委員長秋山治由大和田1丁目町会長指揮のもと体育室の舞台設置及び模擬店の設営を行い21日、22日と広報部は体育部とともに芸能発表会の司会進行を受け持ちました。当日は両日とも出演者の家族、友人等ご来場いただき、出演者の方々も声援に応えながら日ごろ練習した成果を熱演して、観客の声援に応えていました。初めての司会で初めは緊張しましたが、最後は炭坑節・太陽踊りなどを会場の皆さんと一緒に踊り楽しみました。

広報部 松岡茂雄